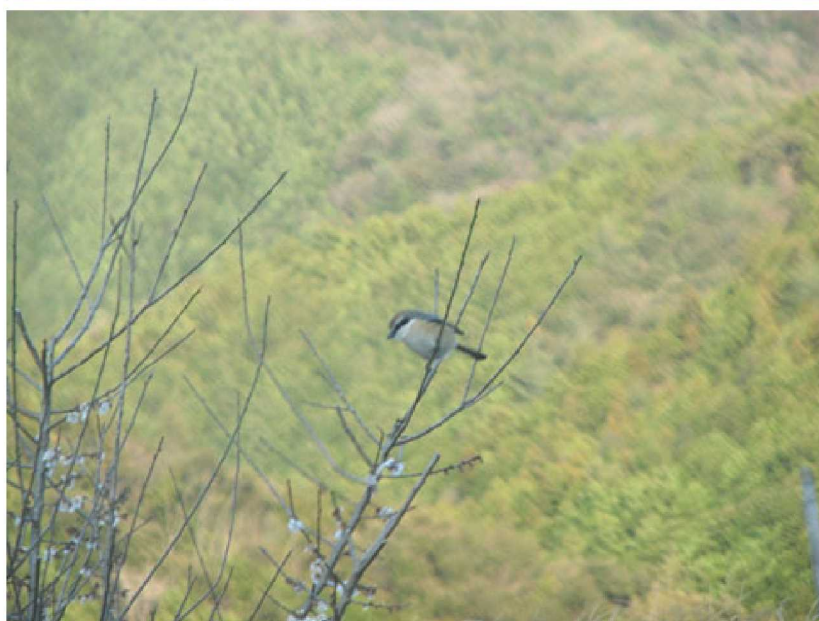


「今月の1枚」



モズ（モズ科） *Lanius bucephalus*

体長20cmの小鳥ですが、くちばしの先端が下に曲がって鋭い鍵状になっていて、昆虫、カエル、トカゲなどの小動物を捕らえて食べる性質を持っています。ときにはメジロなどの小鳥を捕らえることもあります。獲物をすぐに食べずに木の枝などに突き刺して「はやにえ」と呼ばれる貯蔵食を作る習性があります。ただし、はやにえは貯蔵食ではなく、なわばりを主張する目印だという説もあります。

日本全国に分布しますが、北日本の寒冷地では冬になると暖地へ移動します。四国では留鳥です。森林の林縁部、若齢林、林と農地の境界付近などに生息して、1haほどのなわばりを作って防衛します。秋から冬にも一羽ずつなわばりを持ち、秋にはキイーキイーと高い声で鳴き、「モズの高鳴き」と呼ばれます。

（写真・文：佐藤 重穂 2011年3月9日 高知県四万十町窪川にて撮影）

(No.228 2012.2.20 掲載)